



Chime  
rque  
blue

21 - 18



18

*Butterfly's Dream*

もう少し甘い方が  
坊ちゃんのお好みですかね

ん

103.

……  
……  
……  
……  
……

はあ

…っあ、セバスチャ…

ふん

メイプルシロップに  
キャラメルソース  
どちらがお好みですか？

や…

ホイップクリームも  
御座いますよ

は

ふん

ぐんぐん





あ、ん  
や、セバ…  
そこ、やめ…

は、…ああ…っ

おや

坊ちゃんこれでもう  
3本目ですよ  
お行儀悪いですね

カサッ



仕方ないですね  
本日だけ大目にみて  
差し上げます

あ、や…



この状況  
で…

なにが  
行儀だ…っ

あ…

も、やめ…

やだ

どうして？

坊ちゃんのお好きなもの  
沢山ご用意したんですよ

ひんひん

ほら

お口をあけて？





美味しい？

好きでしよう？  
咽返る位に甘い方が

ほら、  
まだ残ってますよ

ん  
あま、い……



こんなに涎  
垂らして……

こちらにも  
欲しいですか？

おや

そっち……

いれ、  
んなあ……

うあ、  
やあ

んあ、

しゅっ、

や

あ、

あ

あ、

にゅっ、

うわ



坊ちゃんの涎と  
クリームと

ぎゅんぎゅん

いっぱい混ぜって  
ぐちゃぐちゃですね



ああ

それに



美味しそうに  
食いついてきますよ

びびり

ぎゅんぎゅん  
やあやあ



とても甘い





ちゅぽぽ

…坊ちゃん?

ぽぽ



もしかして、  
出さずにいったんですか？

さあ、んあ...



坊ちゃん...



...貴方は本当に  
何時も私の  
期待以上を  
下さいますね

その小さなお身体で  
まさか  
ドライオーガズム  
に到達なさるとは...

さすがは  
我が主

う…？



はっ

と…う…

射精を伴わない  
絶頂の事ですよ

実際に出すより何倍も  
イイと言われていますが…

感想は？

ゼツッ

や…っ  
わかなな…っ、あ…

…ここまで乱れて  
下さるのは  
久しぶりですね

ゼツッ

ああ、坊ちゃん  
の顔を見て  
いるだけで



ほら



もう、  
こんなに

坊ちゃん…

お口でして、  
戴けますか？

…っあ、

んっ

ぬ

イッポウ

はる。

おじい

ん  
ん  
ん  
ん  
ん

…っあ…



こちらのほうが  
舐め易いでしょうか？



…  
甘い

変な  
感じだ…



…うあ？

しょお

あま…い？



…  
甘いの  
だけじゃなく

ちやんと  
私のも

舐めてくださいね

…ん…はあっ



坊ちゃん

力抜いてて下さいね



ん



びくびく

あ...ア...

あっ

びく

びくびく

ア...ア...

うっ



あ...あ...



坊ちゃん...

坊ちゃん...

私の事、  
感じますか？





どうされました？

そんなに  
ないて…

可愛いですね

ついで

ズン

やあつ、  
な…ん、で

せう

あ、  
まっ

そんな

ヒンヒン

ちゅー

にゅー

こちらのほうが感覚を  
追い易いでしょう？

ちゅー

あはは

ゆっくり…

やああ…  
あ、う…や

はは

動くん、…だっ

ジュン

いや？  
気持ちよくない？





可愛い事を

仰いますね



ドライの反動ですか？

ちゃ  
ちゃ  
ちゃ

ちゃ  
ちゃ

じゅ  
じゅ

し  
ち  
ち  
っ



大丈夫ですよ

今度はちゃんと  
普通にイかせて  
差し上げますから

けいっ

ん

ん

っ

…こんなのはおかしい

ここ、  
気持ちいい  
でしょう？

あ、  
あ、

優しい手

あ、あ、  
ちゅっ

ほら、


そんなに  
怖がらないで

優しい声


はっ…あ、  
セバスチャ…

こんな  
まるで






愛されてる  
みたいだ



…坊ちゃん

こいつのスィーツが甘いのか

こいつ自身が甘いのか



境目がわからなくなる

あ

全部融けて、  
なくなっ  
なくなっ  
ってしまっ  
ま





ん



おや



なんだ  
起き立てにさかるな

む

風呂…ん？  
…ん？



お目覚め  
ですか？



お早う御座います

とび



気を失って  
しまわれたので

勝手ながら浴槽まで  
付き添わせて頂きました

お風呂

わん



ん

：坊ちゃん  
少々寝ぼけて  
いらっしやいますね



：あ？



出過ぎた真似をして  
申し訳御座いません



フロ…？



に

いっしょ







やっぱり

今日のお前は  
気持ち悪いな

ほい

…心外ですね

今日は坊ちゃんを  
たっぷり甘やかして  
差し上げよう

何時も以上に  
趣向を凝らしましたのに

…それであれか？

頭可笑しい  
んじゃないのか

坊ちゃんは  
甘えたさんで

とても

可愛らしかったですよ

しゅわ  
しゅわ

…うるさい！  
もう黙ってる！

くっくく  
うがー！

ほい

もういい

取り合えずだるい  
歩くのも嫌だ

冷たいものが  
飲みたい  
甘いヤツ以外で

かしこまりました  
すぐにご用意を

仕事も  
無しだ

予定は総て  
明日に回します

はいはい、抱っこですね

ええ

今日はお望み通り  
好き勝手  
させてもらうぞ

腹がいっぱいだから  
ディナーは遅らせろ

その分腕によりをかけて  
ご用意致します

あと、

ぼぼ  
ぼっふあん…？

!!

…

明日には  
そのにやけ面  
直しておけ

ひよい  
(御意)

今日のお前は

気持ち悪くて  
適わんからな…

ちやほほ

ほろほ

…  
…  
何時ものお前で、  
充分だ

イエス

…

マイロード





甘い唇

甘い声




では

私からも最後に一つ



今夜は、お傍にお控えしても…？



朝にはとける

甘い時間

とけてしまったのは夢か現実かわからないまま

好きにしろ…

また、  
朝だけが  
やってくる

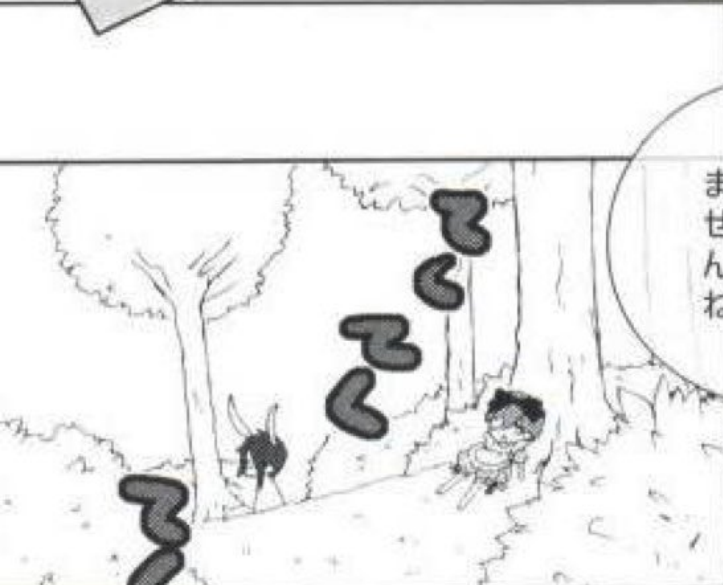






もうこんな  
時間ですか

ああ



急がないと  
間に合い  
ませんね



何時まで寝てる  
おつもりですか  
まったく…

貴方と  
いう人は…

しっ



坊ちゃん  
起きなさい

そもそもこんな場所で  
熟睡できるというのも  
考え物ですよ

…るさいな…

仕方ありませんね

ほー

いつも私が居るからといって  
貴方は危機感が足り無すぎます

その様に無防備では  
寝して下さいと  
言ってる  
様なものですよ

そんな考えなしの  
坊ちゃんは一

ん  
……せ……

ちゃ

ん

ん

おは



不思議の国へ  
ご招待して差し上げます

ほ

え

か

ちよっ

な

ん

びっ



あああああ

あ

びっ

おき

た

セバス

チャ...

たっ



ぼすん

大声上げて...  
みっともないですねえ  
坊ちゃん

助かった...  
のか?

セバスチャン貴様ッ  
これは一体  
なんのつもりだ!

クス

ぶっ

クス

ゾッ!

ご存知  
ですか？  
坊ちゃん

勉強を蔑ろに  
した挙句

惰眠を貪り

後先考えない好奇心から  
仕舞には首を跳ねられかけた

愚かな少女の  
おはなしを

ルイス・キャロルの  
アリス……か？

ご名答

坊ちゃんの様だと  
思いませんか？



はあ？

怠惰は悪魔の  
好む思考では  
ありませんが、

ファントムハイヴ家執事として  
見過ごす訳には参りません

ぼ

ら  
ん

誰かさんは  
口で言っても  
分からない  
様ですので

実際に体験して  
そのお身体で学習  
して頂こうかと

いらん！





と、いう訳で坊ちゃん

し

不思議の国へようこそ

せいせい私を  
見失わないよう  
追いかけて  
いらっしゃい

ふざけるな！  
なんで僕が  
こんな遊びに  
つきあ

ほたん

あ

ごは

ガ

ガ







.....EAT ME



# 脱カ

見ろ！  
背が高く  
なったぞ！



セバスチャン！

かきと小下！

なんだ、せっかく  
取ったのに開けたら  
意味ないじゃないか

すみません

ハア...

よし！  
セバスチャン  
次行くぞ次！

ハア...



…そして、  
海を渡り

野を越えて

物語は中盤へ

…うんは…

あーん





んが!?

なっ  
これは……!

きゃー  
ころころ



ア  
ン  
サ  
ン  
カ  
ー  
イ  
カ  
ー  
ク  
ン  
!?

やあ伯爵  
ティーパーティーへ  
ようこそおし

あやや  
い







お仕置きの  
時間です



そう、ちゃんと  
根元まで啜えて

これ位、  
余裕でしょうか？

笑い飛ばせる程度のモノ  
ですしねえ、坊ちゃんには



…ピクピクしてる



なんか…  
かわいい



ほら、  
坊ちゃん

お顔、  
こちらに向けて



お仕置きだと、  
言ったでしょう？



…誰が勝手に  
舐めていいと言いました？



お口が寂しいなら  
これでも啜えていなさい

それにしても、まだ  
触れてもないのに  
こんなにして…

人のもの  
しゃぶりながら

何をお考えに  
なってたんです？

か4

か4

か4

あ…  
セバ

は

ぐいぐい

ぐわん

ぐわん

ぐわん



では 坊ちゃん

相変わらず  
いい表情しますね

上手に  
おねだり出来たら

これ

いれて差し上げますよ

…っや、

あ

く  
い  
っ

い  
く  
っ

あ  
あ  
あ

あ

あ  
あ  
あ

あ

あ

あ



睡おっしやい  
ここに  
欲しいでしやうか?

今の大ききなら  
慣らさなくても  
余裕そうですね

なんでも  
いいから...っ  
はやく  
よこせ...っ



んん  
んん



まあ、及第点  
ですがいいでしょう

物欲しそうな  
顔して...

やはりこれだと  
足りませんか?





大きいの、  
欲しかったでしょう？

はっ、  
はっ、  
はっ

そんな  
きゆうっ...に、  
むり...

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー







発情鬼は始末が悪いんですよ よく言うでしょう？ 『気が狂っている様だ』と

すっすっすっ

は、らう？  
お、まえ

盛りすぎ……っ  
は、

は、らう？

は、らう？

は、らう？



だから後先考えなさいと 言っって差し上げたのに……

は、らう？  
は、らう？  
は、らう？



ひなっ  
まだ...  
する、  
のか?

このまま  
2回目...

坊ちゃん...

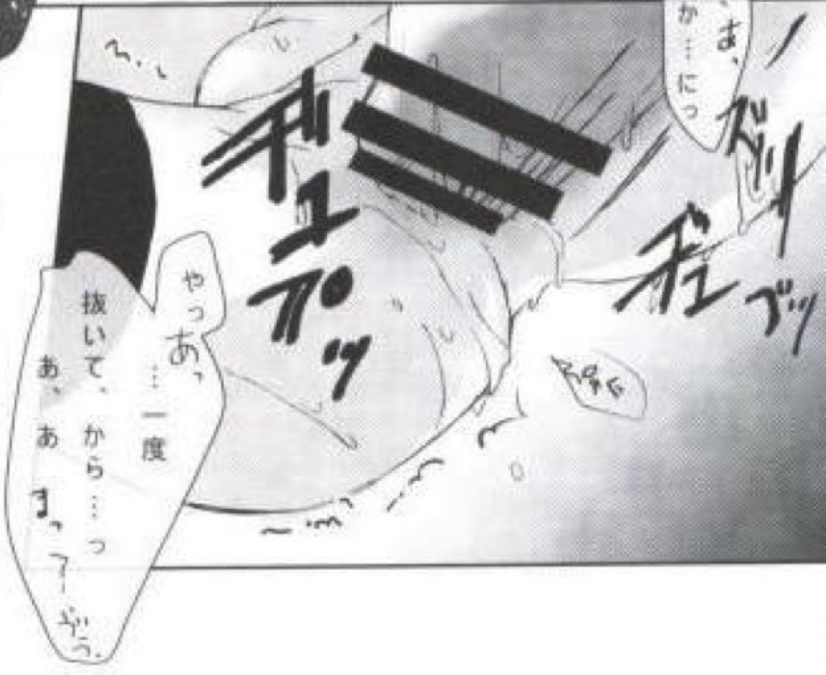
ん...  
セバ...?  
どうし

びん  
びん



駄目です、  
このまま...

うあ  
またあ、



やっ...一度  
抜いて、から...

まだ、ま  
なか...にっ

20  
20

ちゃんと学習  
なさらないからですよ

あ  
あ

あ  
あ  
あ

いきそうや  
いいですよ

私も  
また

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ





...

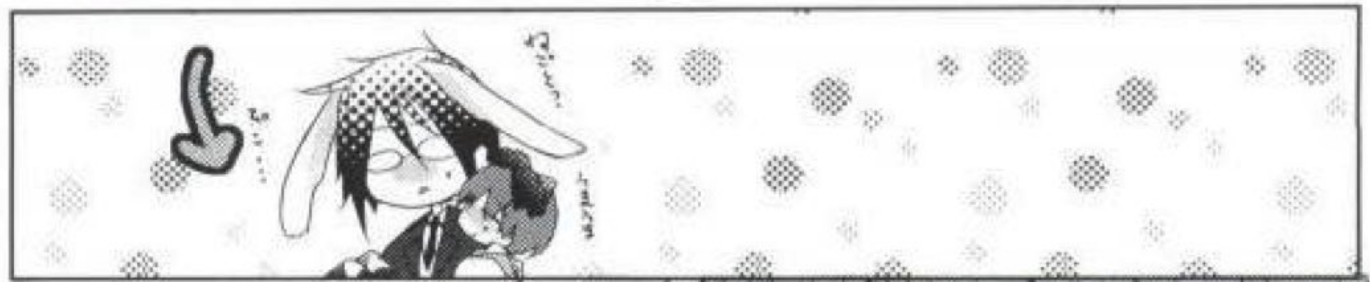
でも、  
まあ、

所詮  
『不思議の国』  
イカレタケカイ  
ですし

後先考えていないのは  
私も同じ：ですかね



少女の矛盾は  
愛嬌という事に  
しておきますか





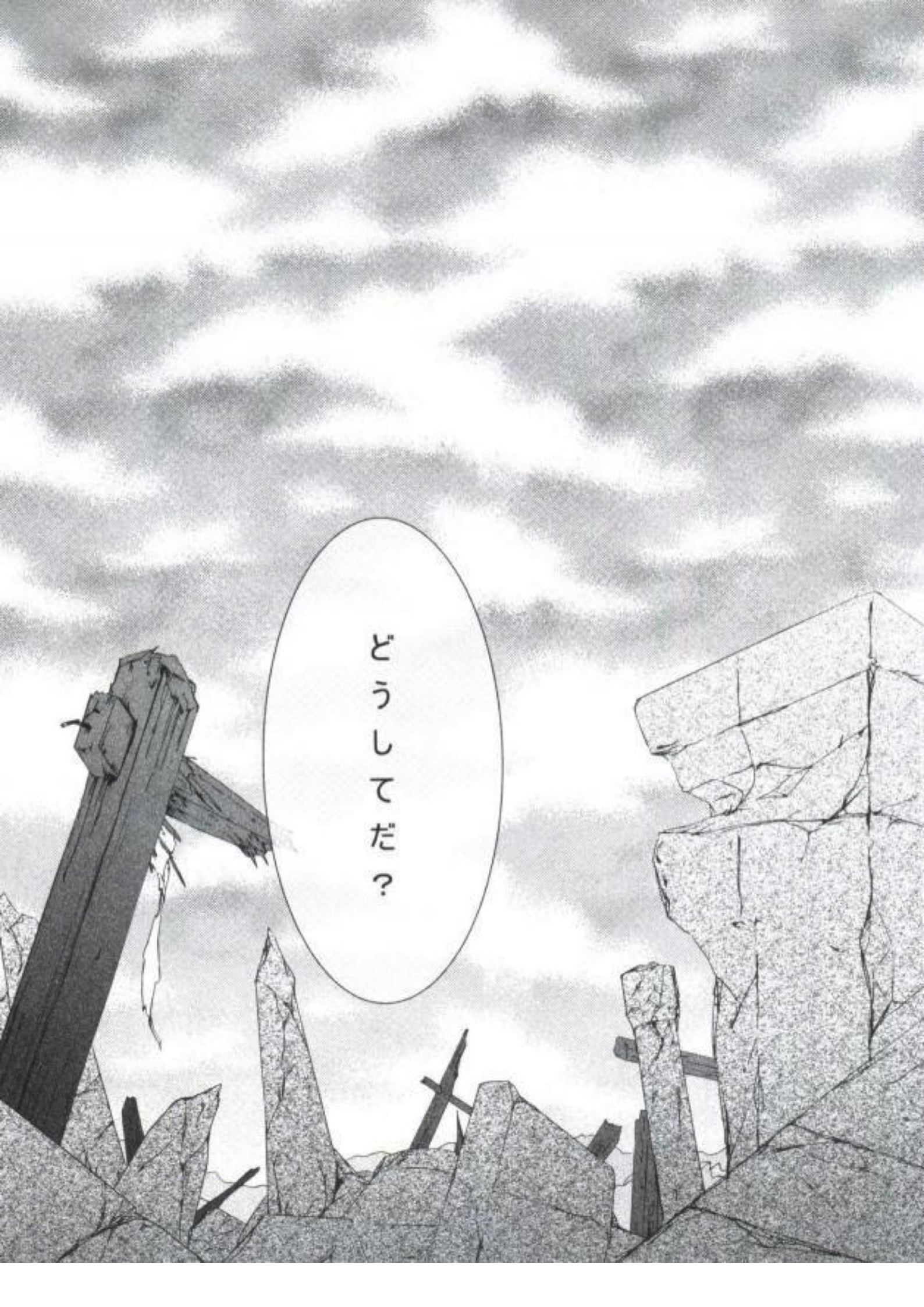
帰ったら、とびきりのものを  
ご用意して差し上げますね  
マイロード  
ご主人様



さよならをいえて







どうしてだ？

はい？

あのまま魂を  
食べる事も出来たはずだ

何故そうしなかった？

私の美学に反しますから


美学ねえ…

それに、

ああ

貴方は退屈しない





わたし  
悪魔にとって  
退屈は死ですからね

退屈を忘れ

美学を通し

その果てに最高の  
晩餐があるなら、その時を  
多少先延ばすのも悪くない


そう思ったままでです

「退屈」を忘れていられる



…そうか

この悪魔はきっと知りはしないのだろう



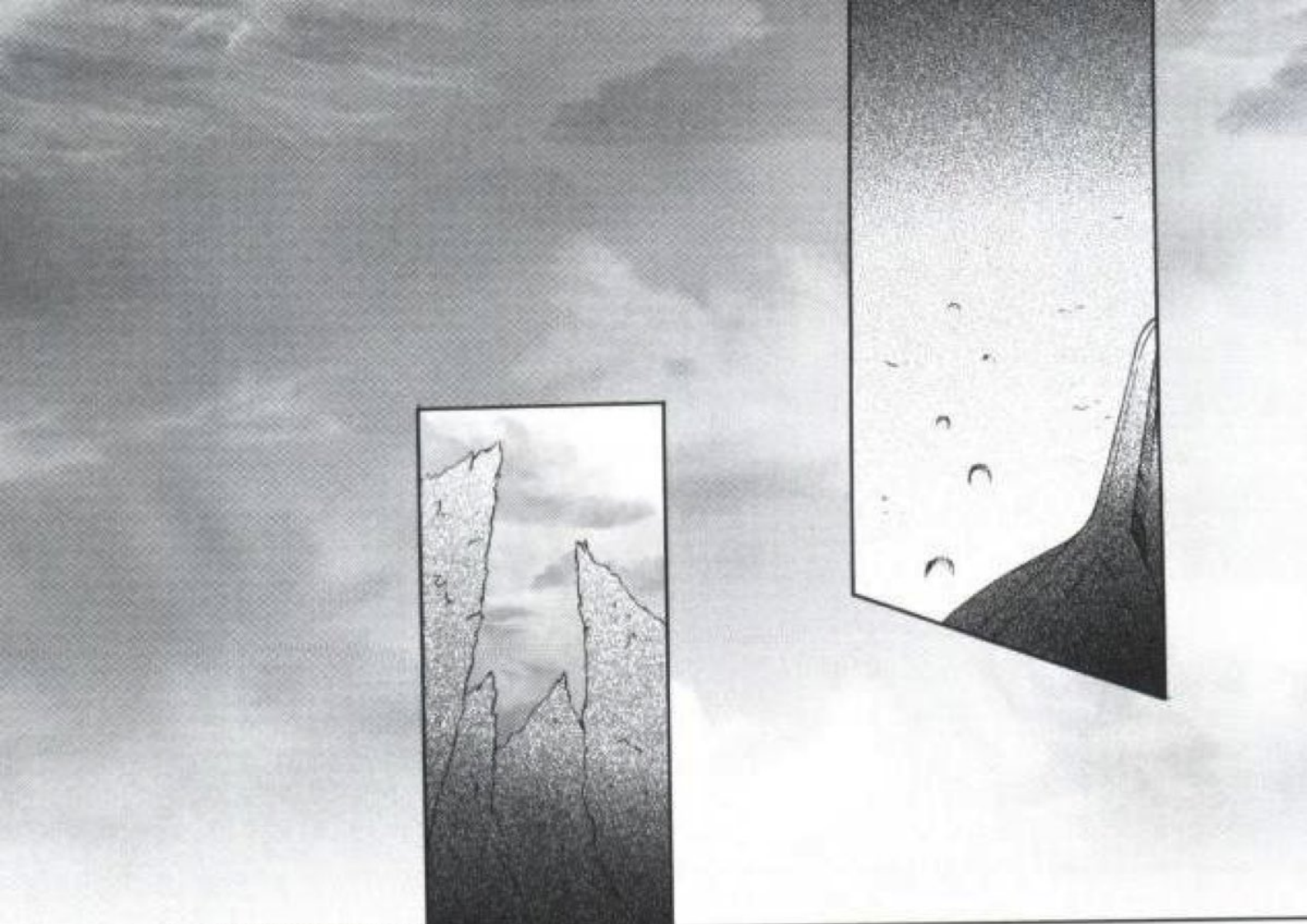
「貴方は退屈しない」

貴方と居ると忘れ

…それは、

人間の言葉に置き換えれば『生甲斐』と呼ばれるものなのだ

さよならを  
おしえて





……ああ……う……なるあ……

ああ、血が……

無理にしたせいで  
裂けてしまった様ですね

……大丈夫ですか？

おはよう

んんん

ヒク……

おはよう

別に…痛くしろと  
言ったのは僕だ

いちいち構うな…

ちやう…

そんなに嬉しいですか？

大好きな私に抱かれて

とっ

っは、

貴様が  
それを言うか？

散々僕を物欲しげに  
見ていたクセに  
よくそんな口がきけるな

くっ

ええ、この時を  
心待ちにしておりました

引裂かれ  
踏み躪られた  
心身と

その奥で気高く  
咲き誇る孤高の魂…

それを私で汚す  
この瞬間を…

はっ…  
この悪食が…

まさか

こんなご馳走、  
滅多にお目にか  
かれませんよ。

なにが…  
っん、









好きにすればいい…  
言っただろう…  
全部くれてやる、と



魂は勿論、

肉も

骨も

今は脈動を刻む  
その血潮も

全部…



クズ…

最後まで…

わたしにすべて食べられたいと  
そう素直に仰れば宜しいのに

…ばか言え  
だれが…っ  
あ、

ズッ  
ズッ

…は、あああつ

うす…は  
せぼ…は

ああ、坊ちゃん…

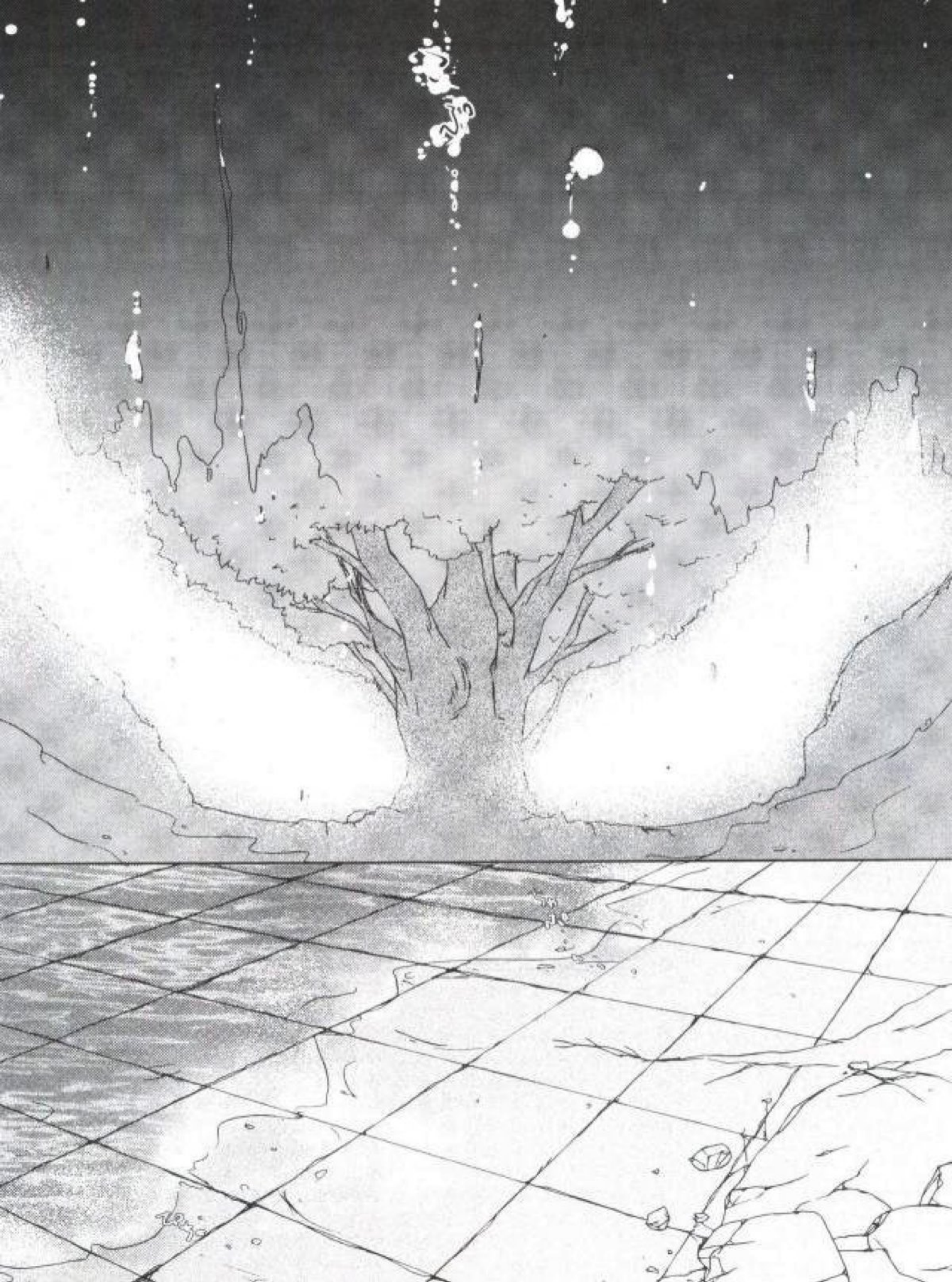
わたしの坊ちゃん…っ

貴方の総てを

わたしに…ッ！

ア…  
ふま…





ああ、

これが…  
待ち望んだ…

カサ

…貴方は、どんな容すがたになっても美しいですね…

シエル

汚辱にまみれ

憎悪に染まり…

…それでも貴方の本質は  
どこまでも高潔だ

泥沼の底で  
お独りで…

さぞや  
お淋しかったでしょう？

ご安心下さい

これからは  
ずっと一緒ですよ

私の糧としてね

美しくも  
汚れたその魂に

死より深い  
悪魔の祝福を…

貴方に淘汰され続けた  
嘆きや哀しみが

喜びや  
親愛が

腐敗して甘い  
蜜と化している

ああ…  
なんて…

甘い…っ

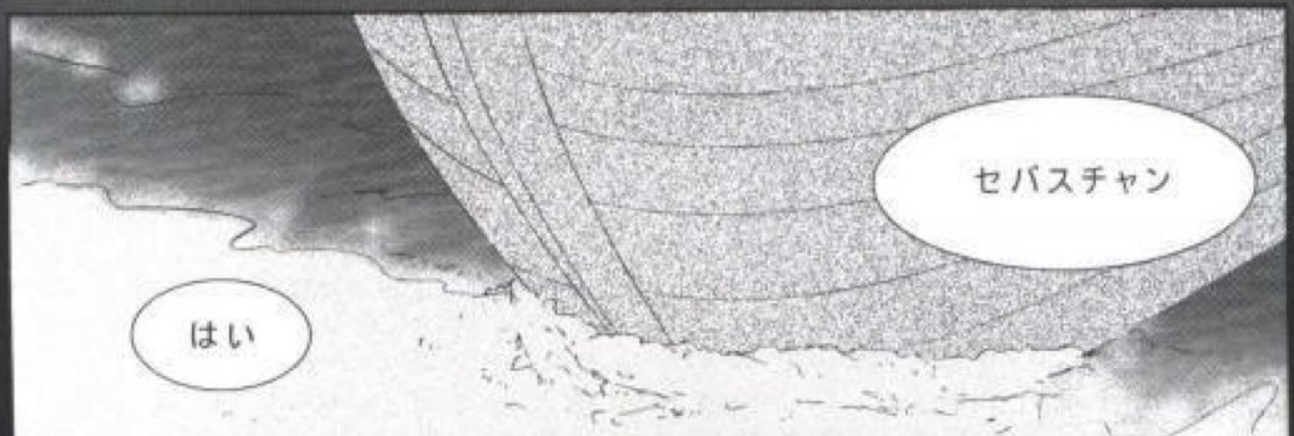
こんな感覚は  
初めてだ…

貴方が私を  
満たしていく…

シエル、  
貴方はなんて  
甘い…ッ！




私のシエル——  
ッ



はい


セバスチャン






お前は何か、

自分のものを  
奪われたことはあるか？



奪われる…ですか？

そうだ



僕からお前に


最初で最後の  
贈り物だ

大事にしろよ

…どうでしょう…

私はどちらかと言えば  
多くの場合奪う側でしたので

そうか、  
それを聞いて安心した



魂以外に？

ああ



…？



僕を食べたその後で噛み締めろ



それが



『喪失のゆたみ』だ

…は、

喪失の…  
悼み…？

ツキ…

それに耐え震える  
脆弱な貴方を…

下す

…そんなもの  
わざわざ  
贈られずとも  
知っていますよ

知っている

はず、なのに

これは？

ズ...

びよ

この、痛みは

まるで臓腑が腐っていくような...

この痛みは一体なんだ...っ

愚かだな、セバスチャン？

なに？

証を失くしたまま契約者の魂を喰らうなど...

侯爵位が聞いて呆れる

……あ……ッ

失念していた？

……人間の感情……それは  
魂に絶妙な味わいを  
もたらす蜜となるが

我々 美学  
同時に悪魔の構成要素をも  
書き換える毒となる……

契約書はいわば毒を  
蜜に変える為の濾過器

証ないまま  
魂を喰らえば、  
その感情に  
身を侵される

餓えた爵位無し  
ならまだしも

よもや貴様が…

余程空腹だったか、  
その人間にそれ程  
傾倒していたのか…

何にせよ  
もう遅い

証無きまま喰った魂  
最後まで支配されぬ様  
しかと味うがいい

その『喪失の痛み』  
毒  
を

これ、は…っ

ぐ、っ  
…っ、あつ  
いた…い…ッ

これは…  
こんな痛みを  
貴方はずっと…？

はは、…っ  
…どうかしている！

…こんな  
は、



最期までよく仕えてくれた



感謝している

ありがとう

セバスチャン





セバスチャン、僕は



お前がとても

、  
すき

だったよ





感謝？

貴方は  
悪魔との契約に  
感謝していると…？

いや、それより  
これは…

この痛みは  
なんだ？

…すき？

貴方が何を  
言っているのか  
わからない…

わからない…

くるしい…

シエル…

貴方の毒が  
私を侵して

どうにかなってしまおう…ッ!

胸が苦しい  
なんて、

こんな

こんな感覚…

…しらない…

しらない…

失態は  
執着からか?

セバスチャン

そう睨むな

毒に蔓延した  
頭では  
まだ気づかない？

？

なにを…

コレだよ

その人間が  
欲しいのだろうか？

……私は、

手に、入れた…

シエルの魂…

そうじゃない

その人間そのもの  
魂を有したヒトだ

…私が…  
それを欲して…？

…いるんだろう？

もう一度  
かの人間の声が  
聞きたいと思わないか？

目を開けて欲しいとは？

もう

一度…

シエル…？

そう、  
まだ手に入れる  
事が出来る

まだ失くしていない

取り戻せる

…この苦しさをから  
逃れられる？

ああ

……この痛みも  
消える？

恐らく

シエル…

シエル

……私の

貴方が奏でる

かなしみとよろこびが

私を洗い揺さぶり

貴方がくれた、いたみとなくさめが

貴方を愛せる心を

...

…シエル…

ねえ、聞いた？  
セバスチャン  
愚か者の話

聞いた聞いた

いい男だったのに  
勿体無い！





まさかあの悪魔然と  
した方がびっくりよね

人に戻れぬ人の子と  
悪魔から落魄れた悪魔と

契りも忘れて貪って、  
毒に侵されるなんて

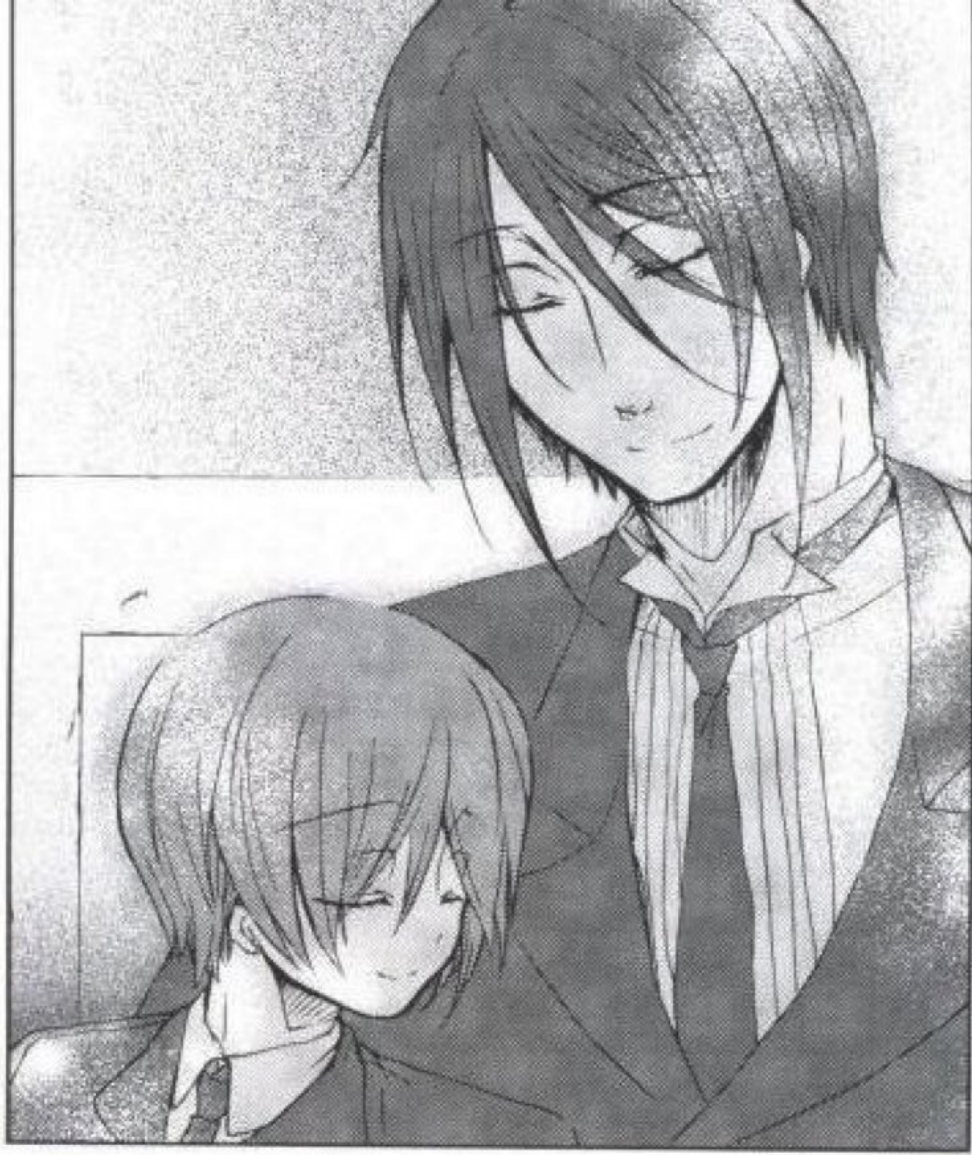
あまつさえ  
一度取り出した魂を  
人間に戻そうなんて

総てから外れた半端で行き場の無い二人

本当に愚か者！

ああ、ほらご覧、愚かな二人のあの姿を。  
あの顔を。





あの滑稽な様を、人間は『幸福』とよぶのだそうよ



ん？

ん…

…ば、す…

ちゃ…？

はあ…

…？

…なんで…

…まだ居る…？

…坊ちゃん…

……おまえ……

なんて顔、して…

…大の男が  
情けない奴だな…





…え？

…あ…、力が…

ほす。

!?

…入らない…？

肉体から取り出して

…少し、たべ…

…再び貴方の中に…

…一度、貴方の魂を頂きました

え…

…恐らくその反動で…



…はい…

ふ、

くく…っ

ははッ…

坊ちゃん？



…魂を

戻した…？



…好きにしろとは  
言ったが…

まさか  
食べ残されるとはな…

なんだ、結局  
僕はコイツにさえ見離されたのか



甘く上質な味わいでした

…今まで  
味わった事が  
ないほどに

？

じゃあなぜ…



…申し訳ありません…

口に合わな  
かったか？



貴方が最後に  
私に下さったモノを

セ  
セバ…

スチャ…？

…  
ツ



覚えていますか



…  
貴方が独りで  
耐え続けたものさえ  
消化できず…、

すべてを喰らう事が  
叶わなかった…

貴方の様に、  
あんな痛みを

抱えたまま  
立ち上がる事が、

私には

出来なかった…



総てをいただくと、

約束しましたのに

最後に嘘を…

ついてしまいましたね

…がう

…僕は

僕が立ち上がったのは

往く道も、終わりもわからない旅路



それでも前だけを見据えて進む事が出来たのは

お前が居たから…

どんな時も僕を守る腕と、

果てた先に受止めてくれる約束があったから



だから僕は

恐れることなく  
歩くことができたんだ

… 独りじゃ、  
なかつたから…

でも、そうか…  
僕は結局

お前に、全部  
押し付けてしまったんだ…

あんな痛みを  
大事にしろだなんて…

坊ちゃんは酷ですね

まだ痛いのか？

いえ、今は…

ねえ坊ちゃん…

私の傍に居て  
くださいますか？

は？

貴方には私が…

でしたら私には  
貴方が居て下さるのが  
道理でしょう？

それにこんな痛み、  
今まで知らずに居たのに…

責任を取って頂きませんと

それじゃあ

お前がちゃんと  
僕を食べられる  
様になるまで、

傍に居てやるよ

…お前…

貴方、それは

…ッ！

約束を、

したたろう？

ヤ



酷いひと…だ

——本当に…

嘘は嫌いなんだ  
知ってるだろう？



お前が言うな

悪魔

確かに私は悪魔ですが  
『セバスチャン』ですよ



多分、  
この先もずっと

そんな事  
命令してないぞ

最期までご主人様のお傍に…  
それが『セバスチャン』の役目

そして最期は悪魔の  
ものでしょう？

詭弁じゃ  
ないか

私が餓死するのが早いのか

坊ちゃんの魂が消滅するのが早いのか

…どちらが先でしょうね

お前が僕を食べれば

済む話だろうが

…あんな痛みは

二度と御免です

弱虫め

そうですね…

貴方の所為で私は  
随分弱虫になってしまった

だから…ねえ？  
傍に居て

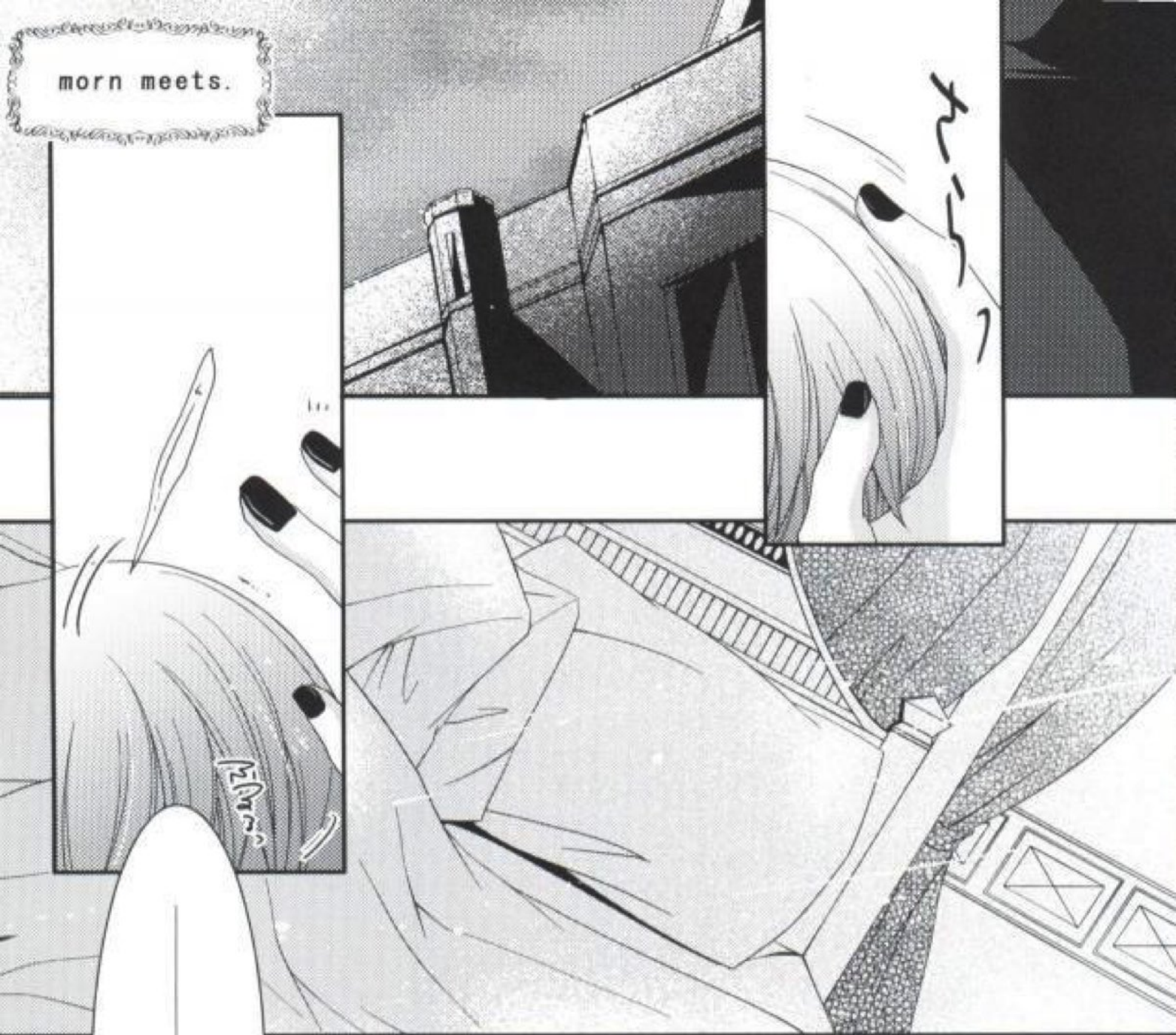
シエル

共に朽ちて、  
と

そう言って、  
悪魔は甘く微笑んだ



morn meets.





58

おはようございます  
坊ちゃん

まだお目覚めには  
少々早いお時間ですよ？



まだ勤務時間では  
ありませんし



違う…  
いつもすぐ  
居なくなるのに

…珍しい



？

…おまえ

なんでまだ…  
ここに…？





…心にも  
なにもとき…

ふっ

は



名残惜し  
かったもので

んまー！

は



それでも  
ありませんよ…

!?



まだ…  
はいって…



なに…?  
あ…?  
ん…

名残惜しい、と

言ったでしょう?

や…  
なんで…  
このまま…っ

…の、変態!  
ちが…!!!

ん…



おせおせ、  
起きた途端に  
そんなに  
締め付けて…

さっきまでとても柔らかくて  
包み込むようでしたのに

ホラ、  
今はこんなに  
動いて…



ああ、  
動かないで  
下さい…



また…

あ…  
あ…

固くなってきた…



お前だって…  
そんな、大きくしてる

そんな顔して腰を  
揺すられたら、興奮するに  
決まってるじゃないですか

くせだ…





まったく

だらしない  
ですねえ、  
坊ちゃん  
は

さ、  
お身体  
洗って

おー  
たっ

誰の  
誰の  
せいだ  
誰の



坊ちゃんも  
満更ではない  
様子でしたが

うるさい黙れ  
沈めるぞ  
鼻に。

これじゃあ  
今日一日使い物に  
ならない  
じゃないか、  
どうしてくれる



宜しいじゃ  
ないですが  
急ぎのお仕事も  
ありませんし

今日一日ごゆっくり  
なされたらいかがですか



ここのところ  
お疲れだった  
でしょう？

…セバスチャン…

はい

そちらの  
お手も…

もしかして

初めからそのつもりで…

どうせなら  
普通に休ませて  
欲しいんだが…

…  
悪魔…  
ハッハッハ…

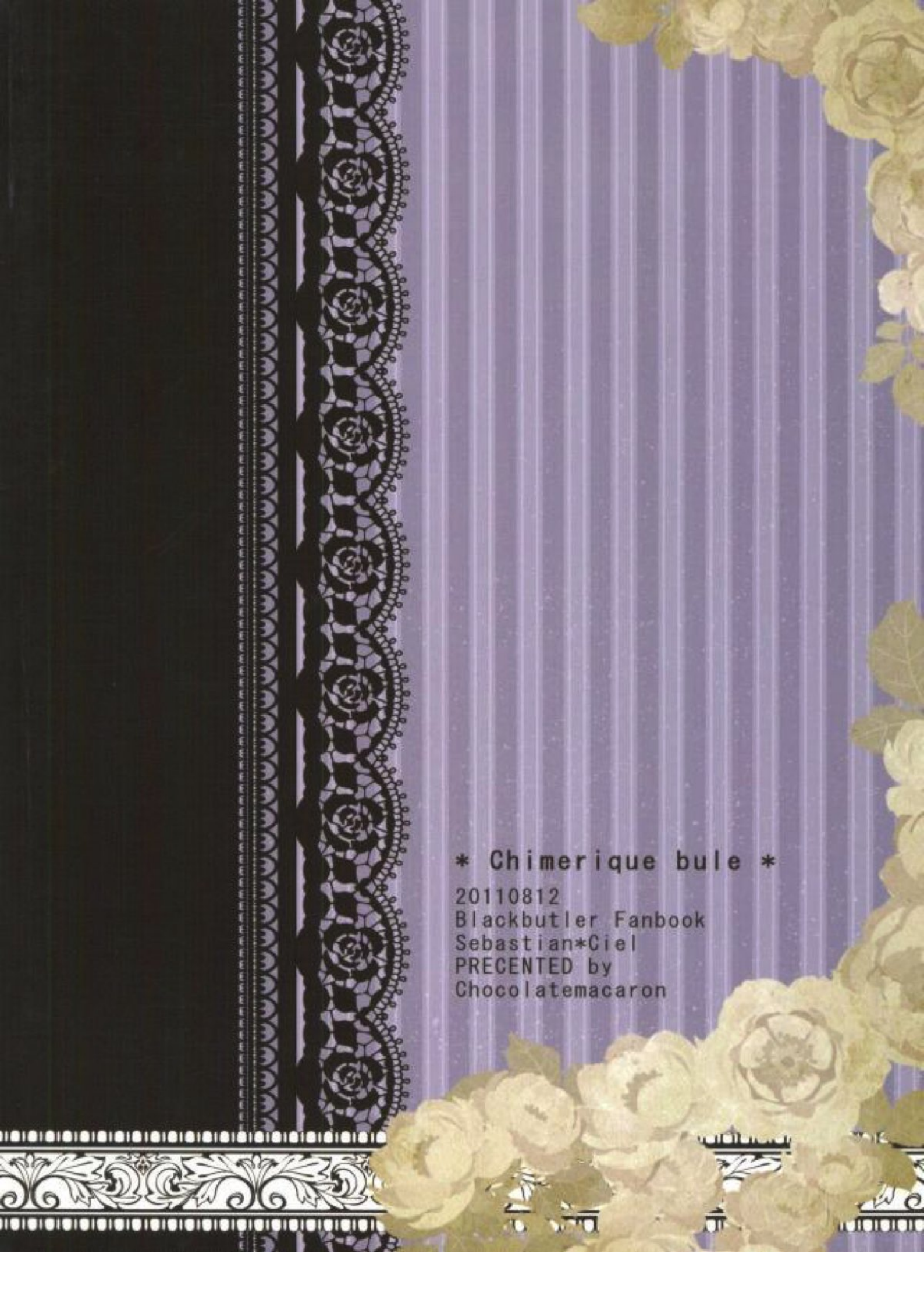
…  
疲れたら休ませよう…  
カ…

お疲れ…  
アッ…

…  
お疲れ…  
アッ…

…  
お疲れ…  
アッ…

…  
お疲れ…  
アッ…



\* Chimerique bule \*

20110812

Blackbutler Fanbook

Sebastian\*Ciel

PRESENTED by

Chocolatemacaron